

ところざわ倶楽部
第 1 1 期定期総会資料

平成 29 年 11 月 21 日（火）
ミューズ 第 2 展示室（管理棟 5F）

目 次

1、第10期ところざわ倶楽部総括	P 3
2、第10期活動報告	
2－1 総務部報告	P 4
2－2 事業部報告	P 5
2－3 広報部報告	P 7
2－4 サークル活動報告	P 9
3、第10期会計報告および監査報告	P18
4、第11期ところざわ倶楽部活動方針（案）	P19
5、第11期役員改選（案）	P20
6、第11期活動計画（案）	
6－1 事業活動計画（案）	P21
6－2 広報活動計画（案）	P22
8、第11期予算（案）	P23

1 第10期ところざわ倶楽部総括

ところざわ倶楽部会長 稲村洋二

第10期のところざわ倶楽部の運営は第9期で決めた10周年記念事業①「生涯学習シンポジウム」の開催、②音楽朗読劇「ハーメルンの笛吹きおとこ」の公演、③「10周年記念誌の発行」の3つの事業の実施を中心に運営をいたしました。「生涯学習シンポジウムの開催」は事業部が中心となり進め、「ハーメルン」と「10周年記念誌」の推進については実行委員会を結成しすすめてまいりました。

「生涯学習シンポジウム」は5月29日（月）ミューズで開催し、倶楽部会員の他一般市民、市民大学受講生、早稲田大学学生を含め204名と多くの方達が来場されました。「ハーメルンの笛吹きおとこ」の公演は大成功でした。フィナーレは会場から万雷の拍手が起り感動に包まれました。10周年記念誌については、倶楽部の歩んできた10年をまとめ次の10年の足掛かりとする意味を持つものです。その意味で高いレベルの記念誌になったと思います。

一方、通常の事業である新入会員歓迎「新春の集い」、連続文芸講座「夏目漱石」、「サークル活動発表会」を実施いたしました。「新春の集い」については36名の新入会員のうち13名の新会員が出席、倶楽部についてのオリエンテーションを行いました。文芸講座は栗田博行先生の熱心な講義に180名の応募があり、初めて2部制による講座を行いました。7月28日に行った「サークル活動発表会」については123名の会員、市民大学受講生、一般の方の来場者数となり昨年を大幅に上回りました。「サークル活動発表会」の目的は発表会を通して各サークルの活動内容を知り、サークル同士の活動を促進することにあります。その結果共同で活動を企画・実行するなど活動が活発化して来ています。また、10期は例年行っている「文化祭」、「講演会」は10周年記念事業のため休止しましたが来期は行われるものと思います。予算の執行状況につきましては、10周年記念事業の費用を含めた決算で予算通り執行でき、昨年とほぼ同じ金額を次期へ繰り越しました。

会員資格の見直しについては、9期の総会で規約の改正を行い“一般の人の入会を認めると同時にサークル会員は倶楽部会員とする”としました。その結果一般の会員5名の入会がありました。

一方、10期の期間中に結論を得られなかった次のような課題があります。①高齢化に伴う今後の倶楽部の在り方、②理事を出すことが困難なサークルへの対応、③市民大学受講生との連携の在り方、などです。これらの課題は次期での議論の中で結論あるいは方向性をだしていただきたいと思います。

最後に10期の計画を実施するにあたりこの1年理事の皆様には多くの時間を割いていただきご協力をいただいたことに対し改めて厚く御礼申し上げます。

2 第10期活動報告

2-1 総務部報告

1. 会員動向

前期の会員数は259名、入会者は36名、退会者は37名で、現在の会員数は258名です。

2. サークル活動

前期末後に「ところ会」が退会したので、現在17のサークルが活動しています。

3. 理事会開催

回数は8月を除き11回開催し、諸課題を議論し結論を得た。役員会（会長、部長、副部長で構成）は同じく11回開催しました。

理事会メンバー：稲村洋二、石堂智士、佐藤重松、海老澤愛之助、中原幹男、森野辰夫、玉上佳彦、曾部康子、佐藤美津子、大越理恵、内田滋男、岡部まさ子、吉田麗、加藤敏恭、安田好子、高瀬成一、井上守、池上幹彦、中島峯生、西郡貢、川上紀春（21名）

役員会メンバー：稲村会長、石堂総務部長、佐藤事業部長、海老澤広報部長、中原総務部副部長、森野事業部副部長、玉上広報部副部長（7名）

4. 10周年記念誌作成実行委員会の報告

合計7回委員会を開催し検討しました。内容は、「サークルのあゆみ」フォーマット作成及び代表者への送信など、装丁の表紙及び裏表紙など、倶楽部の紹介及び趣旨など、「ところざわ倶楽部のあゆみ」の全体構成及び分担の依頼など全体作業について管理し、52Pにまとめました。サークルのあゆみの原稿収集及び校正作業、ところざわ倶楽部のあゆみなどの原稿収集及び校正作業を期日管理し、各部分の編集内容を理事会で閲覧し、承認を受けました。作成部数は500部とし、配布は総会とし、欠席者には送付します。

5. 市民大学との連携事業

①5月30日、生涯学習センターで24期市民大学企画委員会と「OB会3団体」交流懇談会が開催され、ところざわ倶楽部を説明し、企画委員からの質疑に応答しました。

②9月5日、生涯学習センターで市民大学24期生向けのところざわ倶楽部説明会に参加し、ところざわ倶楽部の紹介と2サークル活動の紹介と新入会者の生の声を伝えました。

③10月24日、生涯学習センターで市民大学24期生の閉講式後に、13サークルの説明展示を行い、入会申し込みを受けました。なお、10月10日、17日グループワーク発表会を倶楽部サークルでPRし、参加者を募りました。

6. 第11期定期総会

11月21日（火）午後1時30分ミューズ第2展示場で開催。

2-2 事業部報告

今期は倶楽部創立 10 周年を記念し、一人一人の会員の皆さんが、或は其々のサークルが倶楽部創立の趣旨（原点）を考える年となったように思います。

事業部で取り組んだ年間行事の、“企画・運営・参加”の状況に、大変積極的な意味が込められて居りました。用意周到な準備・宣伝・アピール・参加動員の取り組み等々によって、会員相互の（サークルの枠を越えて）「交流と親睦」を深め・或は「生涯学習」について、立ち止まって考えて見る、いい機会となりました。

年間行事の計画と実施の結果

計画月	行事計画	実施月	実施行事	参加者
1 月	新会員“歓迎” 「新春の集い」彩翔亭	1/27	第 1 部長唄三味線「綱館」 第 2 部落語 2 題 第 3 部「歓迎のお茶会」	新会員 13 名 現会員 32 名 合計 45 名
5 月	「生涯学習」シンポジウム&パネルディスカッション」ミューズ *紙上参加のご意見 55 名の方が参加！	5/29	第 1 部 基調講演 「青春をもう一度！・・・」 第 2 部パネルディスカッション&「青春」詩の朗読 第 3 部 懇親会	会員・友好団体・一般市民 合計 204 名
6 月	文芸講座連続 4 回 「人間・夏目漱石」 生涯学習センター	6/5～ 全 4 回 AM/PM	① 幼・少年期→青年期の ② 国家がもたらした・・ ③ 壮年期、あの事件を・・ ④ 消えなかったトラウマ・	会員 99 名 一般 81 名 合計 180 名
7 月	第 2 回サークル発表会 新所沢公民館ホール 発表①～④の 4 サークル	7/28	① 職を通して所沢を知る ② 楽悠クラブ ③ 野老澤の歴史を楽しむ ④ ドラマティック・カンパ	会員・他団体 合計 123 名

「ハーメルンの笛吹きおとこ」実行委員会

9/18	創立 10 周年記念フィナーレ ミューズマーキーホール	① 古楽器アンサンブル ② ハーメルンの笛吹きおとこ	781 名
------	--------------------------------	-------------------------------	-------

1) 新会員歓迎「新春の集い」について 1/27 (彩翔亭)

1/27(金)航空公園内「彩翔亭」にて、「新入会員歓迎！」の“新春の集い”を開催。新旧併せて 45 名の参加を得て、新春に相応しい催し物となりました。第 1 部は長唄三味線田口 拓氏（東音会）・土方ゆかりさんの、長唄三味線の歴史を紐どきながら、「綱館」の唄いを朗々として、会場を魅了しました。第 2 部は落語 2 題でお楽しみ頂きました。市

民大学22期で倶楽部会員でもある渡辺昌一郎氏こと<水々亭めだか師匠>が「まんじゅう怖い」を、そして、富岡落語研究会の<のんき家右勝師匠>の「長短」で会場が笑いにつつまれました。第3部は「新入会員歓迎!」の意をこめて、「抹茶と和菓子」で和やかな懇親会となりました。

2)「生涯学習」シンポジウム 5/29(ミューズスクエア)

基調講演&パネルディスカッション&懇親会

5/29(月)倶楽部創立10周年記念事業第1弾として3部構成(基調講演・パネルディスカッション・懇親会)で開催。ミューズスクエアに204名の参加を得て、会場は大入り満員の状態で熱気に溢れました。

- ① 基調講演では、早稲田大学加瀬裕子教授「青春をもう一度」と題して、人間の学習能力は衰えない!ものの見方や真理は単一ではない!また、人間尊重の視座が大切!

「国民としての模範なる私」の具体的な5つの提唱として、1、考え学ぶ「私」2、行動して確かめる「私」3、仲間と協同して成長する「私」4、意見を言える「私」5、自分の意見に責任を持つ「私」に、大変共感された参加者が多かったこと。

- ② パネルディスカッションでは、5人のパネリスト(加瀬・細山・佐藤・薄井・稲村)氏が、市民大学やところざわ倶楽部の生い立ちや、「生涯学習」と「豊かな人生」について、パネリスト其々から大変貴重な発言を頂きました。また、参加者の皆さんからは紙上参加と云うかたちで、55名のご意見を頂き、総てHPに掲載させて頂きました。

♫パネルディスカッションの最後にサミエルウルマンの「青春」の詩を佐藤美津子さんの素晴らしい朗読でしめて頂きました。(詩は参加者へプレゼント)♫

- ③ 懇親会も和やかに「交流と親睦」が図られ、期別のテーブルで旧交を温めて頂きました。

3) 文芸講座(全4回) 6/5・6/21・6/26・7/10(生涯学習センター)

「人間・夏目漱石」漱石生誕150年(同日=午前・午後講演)

漱石生誕150年と云う記念の年と云うことと、講師をお引き受け頂いた栗田先生、3年前の「人間・正岡子規」の講演が素晴らしく、心にのこり、ファンが多かったことと相まって最大95名の募集に対して、180名の応募者となり、先生とご相談し、抽選なしで、応募者全員を、午前・午後の同日講演で、開催出来ましたこと幸いでした。

4) 第2回サークル発表会 7/28(新所沢公民館ホール)

①食を通して所沢を知る会・②楽悠クラブ・③野老澤の歴史をたのしむ会・④ドラマティック・カンパニーの4サークルが熱のこもった発表をされました。発表の内容は其々が素晴らしく、あらためて、ところざわ倶楽部の質の高さを感じたところです。

2-3 広報部報告

1. 本年度の活動

広報部は、総務部・事業部と連携を深め、「広場」「HP」の2つのメディアで、ところざわ倶楽部各種事業、各サークルの活動報告を中心に編集に取り組んできました。

また、以前から掲載していた特別会員の先生方のリレー寄稿を毎月行いました。

昨年1月からリニューアルしスタートしたHPは、ところざわ倶楽部が誇るメディアの一翼として情報の発信を行っています。新規企画の掲載とともに会員からの投稿も増え、アクセス数は、第10期1年間通算19,019件に達しています。

1) 「広場」の誌面づくり

「広場」は8頁編成で、①倶楽部の事業の告知・報告 ②各サークルの活動やPR情報の掲載 ③シリーズ編「私の健康法」「川柳」「むさし野俳句会」の継続掲載を図るかたわら ④10期の最大のイベントである10周年記念事業に向け特別の誌面づくりを行いました。5月のシンポジウム、9月のハーメルンの笛吹きおとこの公演、11月の10周年記念誌の発行と3プロジェクトに多くの誌面を使わせてもらい10周年記念事業の機運を高めさせていただきました。また⑤市民大学との連携を深めるため24期25期の委員長に広報部への参加を依頼しフレッシュな顔ぶれの方に誌面への参加をいただきました。⑥特別号として、「第10期新入会員紹介」「第24期市民大学生の皆さんへ！（入会勧誘）」を発行しました。今後少しずつでも編集部員の新陳代謝や新しい寄稿者の掘り起しが軌道に乗ればよいと思っております。

2) 「HP」の高い評価と活用

HPは、昨年1月にリニューアル開設し新企画を設け多くの情報の発信に努めてきました。倶楽部の事業計画と報告、各サークルの活動計画と報告、特別会員の先生方からの寄稿、広報誌「広場」のバックナンバーの整理掲載、サークル一覧表、会員個人からの情報（エッセイ、旅行記、写真、等々）また、会員が所属する外部サークルの情報やチラシ等を掲載するなどを行っています。会員の方はHPを有効に使っていただきたいと思います。

3) 反省と懸案事項

①10期がところざわ倶楽部発足10周年と言う節目であり記念事業が目白押しであったため、事業部を初めとする執行部からの情報告知が多かった事は否めません。

②内容が固いとの評価を踏まえ、ビジュアル化して読み易い紙面づくりをする事に取り組みつあります。

③広報部編集委員の固定化の流れに対応を迫られているとともに、今後の「広場」「HP」を如何にすれば無理なく継続できるのか11期において検討されることを望みます。

広報紙「広場」の発行

◆年 11 回発行（8 月は休刊。発行日は原則月初金曜日（ヤマト便、メール配信）

発行部数 月 480 部（12 月号～5 月号は 380 部）		
会員用	ヤマト便 45 部（会員 38 名、 特別会員 7 名）	インターネット配信 （会員 215 名 特別会員 12 名）
市民大学用	24・25 期生へ各 100 部（12 月～翌 28 年 5 月は 24 期生のみ）	
一般・会議用資料	232 部（13 公民館、生涯学習推進センター、市役所記者クラブ、 家庭新聞、野老澤町造商店、理事会、編集会議、編集長管理分	

◆28 年度の「広場」記事掲載状況

月 号	発行日	主 な 企 画
12 月号(号)	12 月 11 日	第 10 期活動方針・各部活動方針・定期総会報告
1 月号(号)	1 月 6 日	今年も素晴らしい出会いを・会員限定の新春の集い告知
2 月号(号)	2 月 10 日	新入会員歓迎会・新春のつどい報告
3 月号(号)	3 月 10 日	市民大学は今・生涯学習 3 回学びそして実践する
4 月号(号)	4 月 6 日	シンポジウム告知 人生をもう一度学びへのチャレンジ
5 月号(号)	5 月 12 日	ハーメルンの笛吹きおとこ告知・交流の場とサークル活動
6 月号(号)	6 月 9 日	生涯学習シンポジウム基調講演要旨
7 月号(号)	7 月 6 日	公開文芸講座 人間夏目漱石・市民大学開講式
9 月号(号)	9 月 8 日	ハーメルンの笛吹きおとこ所沢公演を控えて・記念誌制作
10 月号(号)	10 月 5 日	ハーメルンの笛吹きおとこ出演児童の感想文・バック始末記
11 月号(号)	11 月 10 日	総会、懇親会の案内・ところざわ倶楽部に期待するもの

◆「広場」特別号発行

第 10 期新入会員紹介	2 月 10 日 発行	市民大学 23 期修了生 32 名の皆様 ・自己紹介・所属サークル紹介
第 23 期市民大学の皆さんへ	9 月 5 日	ところざわ倶楽部の目的と活動紹介 ・倶楽部入会へのお誘い ・17 サークル一覧表 ・サークルの作り方紹介

◆号外 ハーメルンの笛吹きおとこ出演の児童用に記念の号外を発行した。

◆「広場」新企画掲載

第 10 期はところざわ倶楽部発足 10 周年の記念事業 3 イベントを中心に掲載した。

2-4 サークル活動報告

1. 葵の会 代表：池田新八郎 連絡先：2940-0711 会員数：29名

- ① 今年度の方針：葵の会は古典文学、古典芸能に接し、学びを深めることにより心豊かな人生を歩むことを目的にしています。今年は方向を変え「論語」に挑戦する予定であったが、講師の小川達雄先生病気のためかなわなかった。代わって秋草学園短期大学及川道之教授に講師を依頼、竹取物語、枕草子を学ぶ。
- ② 今年度学んだ古典講座
 - ・前半：竹取物語（2月～6月 5回）枕草子 及川先生による初めての講座。童話で知る話を、古典で本格的に読むことにより大変新鮮であった。
 - ・後半：枕草子（9月～2月 6回）方丈記、徒然草を学び終え、9月15日より講座開始。日本の3大随筆を学ぶことになる。
- ③ 懇親行事： 1月/新年会・総会・能鑑賞 3月/入間狂言鑑賞会 4月/花見（六義園・古川庭園） 6月/国立能楽堂（能鑑賞） 7月/歌舞伎DVD鑑賞 8月/暑気払い 10月/文学散歩 バス旅行（小諸・上田・別所温泉） 12月/文楽鑑賞
- ④ 来年度の方針：源氏物語、平家物語、万葉集等8年の積み重ねの中で、12タイトルの古典を学んできた。かなり古典にも慣れ親しんできたので、今後は長期的な期間一つの作品を学び、掘り下げた学習をしていきたい。また新会員も加入していますので、過去に学んで作品も取り上げていきたい。源氏、古事記等は膨大な作品なので、切り口を変え新たな視点で学んでみたいと考えています。

2. アジア研究会 代表：玉上佳彦 連絡先：090-2497-1076 会員数：25名

- ①今年度の方針：アジア諸国の政治・経済・文化・宗教などについての理解を深め、新企画を加えながら、草の根レベルでのアジアの交流・親善をめざす。
- ②今年度の活動報告：
 - ☆アジアの諸問題について、各会員による報告、問題提起、討論会を実施
 - ・プミポン国王逝去後のタイ近況報告（福田会員）
 - ・トランプ大統領の外交政策（七戸会員） ・ASEAN 諸国の状況（池上会員）
 - ・インドIT業界の報告と趣味の鉄道写真（島田会員）
 - ・安倍首相のアジア外交（志村会員） ・朝鮮半島問題を考える（渡辺会員ほか）
 - ・南アフリカの貧困とエイズ（当麻会員） ・最新中国情報2017年版（玉上会員）
 - ☆他サークルとのコラボレーション
 - 食トコとの合同企画：東京ジャーミー見学、アジアのスパイス料理講習会&試食会
 - ☆忘年会、暑気払い：「滴福飯店」（中華料理）、新大久保コリアンタウン（韓国料理）
- ③来年度の方針：今年度に引続き、アジア諸国の状況に関して理解を深め、新たな企画を加えつつ、留学生や日本在住のアジア人や会員相互の親睦会などを進め、草の根レベルでのアジアとの交流・親善をめざす。

3. 活きいきシニア福祉の会 代表：佐藤重松 連絡先：090-5412-5760 会員数：16名

◆ 10期の活動について、4つの柱をたて

1. 高齢者関連の問題についての学習と一般向け学習会の開催
2. 地域福祉サポーター（社協 WITH プラン）の拡大
3. 身近なネットワークづくり（各行政区を目指し）
4. 他との連携づくり

◆ 高齢化率の高まり（超高齢社会）の現実の中で

1. ①所沢市の医療・介護についての学習会（会員の道江さんが講師）開催
②現行介護保険制度&その改正点の学習会（会員の川上さんが講師）“
所沢市の介護保険課の出前講座の2本立てで行う。
2. 社会福祉協議会（WITH プラン）地域福祉サポーター拡大推進に寄与
少子高齢社会の中で、シニア世代の果たすべき役割は大変大きい中であつて
とりわけ、高齢者の同世代間相互扶助の考え方を広め、且つ、実践へ。
3. 元気な高齢者も、歳を重ねると共に、行動範囲も徐々に狭まること必至。
その意味に於いて、身近なネットワークづくりが求められる。
その基本的視点は、“ひきこもらない・ひきこもらせない” 身近な地域の中で
言うなれば“孤立しない・孤立させない”を広める啓蒙活動を。
4. ところざわ倶楽部の中で、他サークルとの連携。

◆ 来期は、会員自身が楽しみながら、健康寿命延伸と息長い地道な活動を!!推進。

4. 楽悠クラブ 代表：福田晴男 連絡先：2948-3983 会員数：37名

① 今年度の方針

月例会では、オペラ、クラシックに加え、ジャズ、バレエなど様々なジャンルの音楽
を新しく鑑賞演目とし、「頭の体操／クイズを楽しむ」等の要素を入れた時間を設ける。

② 今年度の活動実績

- 1) DVD、LDによる鑑賞（月例）： 参加人員 毎回17～27名（見学者を含む）
 - ・歌劇「タンホイザー」、「仮面舞踏会」、「マノンレスコー」、「トゥーランドット」
 - ・ベートーヴェン「交響曲第9番」、チャイコフスキー「交響曲第5番」
 - ・アンナ・ネトレブコ「スペシャルコンサート・イン・ジャパン」、
男声コーラス「イル・ディーヴォ ライブ・イン・パルセロナ2009」
 - ・ジャズを楽しむ ・映画「クララ・シューマン愛の協奏曲 2008」
 - ・ミュージカル「アンドリュウ・ロイド・ウェバー作品集」、「ウエストサイド物語」

2) その他の活動

- ・月例会開始時における「発声練習&今月の曲を歌唱」
- ・1月新年会・新日本フィルコンサート鑑賞、7月サークル発表会、8月暑気払い会

③ 来年度の方針

オペラを主として、クラシック、ミュージカル、ジャズ、バレエ、音楽映画など、
様々なジャンルのものを鑑賞するとともに、演奏会や音楽講演会に参加する。

5. 食を通して所沢を知る会 代表：吉田麗 連絡先：2939-9662 会員数：12名

1)今年度の方針

- ①所沢産の農産物や生産者への関心と現状を学び、理解を深める。
- ②昨年度に引き続き「地産地消料理コンテスト」への応募と所沢産の食材と創作料理の発信を継続。

2)活動実績

①食に関する講義を受講。

・「フードバンク」「森の102工房」の講義。(食に関する多様な情報の収集)

②他サークルとのコラボ。

・東京ジャーミー見学とイスラム料理を食す。(アジ研とのコラボ)

③「地産地消 料理コンテスト」に再度の挑戦。(所沢産の里いも、ほうれん草、人参等の無農薬・有機栽培野菜と卵を使用した「所沢野菜のいろどり丼」の作品名で応募)

④ミニ講演会の開催(食品の農薬汚染と安全性について)

⑤近隣の料理を食す。(サイボクハムバーベキュー、深谷ネギ料理)

3)来年度の方針

- ①「地産地消料理コンテスト」への応募と所沢産食材の発信を継続。
- ②ミニ講演会の開催により食の情報通を目指す。
- ③他サークルとのコラボ活動の推進。

6. 地域の自然を考える会 代表：海老澤愛之助 連絡先：2922-0259 会員数：9名

①今年度の方針

- 1 地域の自然に親しみ緑の保全、保護活動に積極的に参加する
- 2 活動を通じ会員相互の理解親睦をはかる

②活動実績

1月 トトロの森12号地管理作業

2月 トトロの森12号地管理作業

3月 トトロの森12号地管理作業

4月 トトロの森12号地管理作業

5月 竹の子掘り

6月 トトロの森12号地管理作業

7月 トトロの森12号地管理作業

8月 室内打ち合わせ

9月 トトロの森12号地管理作業

10月 トトロの森12号地管理作業

③来年度目標

- 1 地域の自然に親しみ緑の保全、保護活動に積極的に寄与する。
- 2 会員相互の親睦を第一に各自が時間と、体調と、年齢を考え都合の良い時に気楽に参加し活動していく。
- 3 全国規模の水資源調査に協力する。

7. 地球環境に学ぶ 代表：塚本二郎 連絡先：2942-3117 会員数：11名

1. 今年度の方針

- ・エコ講演会（一般公開としたい）を計画する。
- ・定例会で話し合った内容、発表、報告事例等を適宜、広場、ホームページで発信する。
- ・生ごみ処理方法の変革（焼却→バイオガス化）の調査、各自治体への提言のまとめ。

2. 今年度の活動実績

- ・エコ講演会 「傍聴席」と共催で「パリ協定と日本社会の取り組み」を藤村コノエ氏の講演を頂いた。一般の方も含め41名出席。7/25（火）
- ・県政出前講座 「所沢の自然と農業」と共催で「気象と農業災害」の講演を頂いた。他の倶楽部員を含めて28名出席。4/18（火）
- ・映画上映会 映画「日本と再生」鑑賞会。ところざわ倶楽部として協賛の形で参画した。新所沢公民館ホールの2回入替で300名余の出席があり、うち市民大学関係者は50名を越していた。7/8（土）

3. 来年度の方針

- ・エコ見学会 スーパーエコタウン見学会「北欧の会」と共催、他。
- ・定例会で話し合った内容、発表、報告事例等を適宜、広場、ホームページで発信するとともに、講座の開催を検討する。
- ・生ごみの処理については、近隣市町とも連携し継続していく。

8. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会 代表：田口元也

連絡先：2998-1065 会員数：9名

① 今年度の方針<サークルの基本的な考え方>

- ・定年後も健康で豊かな生きがいのある生活をめざす。
- ・シニア世代の社会参加による元気なまちづくりをめざす。
- ・仲間どうしの助け合い・支え合いで健康寿命の延伸をめざす。

② 今年度の活動実績<学習活動・支援活動>

- ・「出前講座」開講：COOL JAPAN FOREST 構想について（経営企画課）
- ・「シニア世代 なんでも塾」開催：テーマ「これからのシニアライフを考えよう」
- ・「市民活動支援センター」の登録団体との交流活動
パネル展参加、支援学習活動参加、「センターまつり」実行委員として参加
- ・地域「シニア・サロン」開設に向けて、陽だまりサロン「えんがわ」などを見学
- ・市民文化フェアに「チアダンス」出演、活動を通じて地域デビューの呼びかけ
- ・他ボランティアサークルとの交流・紹介

③ 来年度の方針

- ・「シニア世代 なんでも塾」開催：シニア世代のニーズに対応したテーマで開催。
- ・市民大学との連携：「地方自治」グループと共通するテーマで交流を深める。
- ・シニア・サロンの開設：なんでも語り合える“たまり場”を開設。など

9. 所沢の自然と農業 代表：清水仁一 連絡先：2944-8835 会員数：23 名

1. 今年度の方針：下記3テーマの活動を企画・実行する。

- ①里山の保全と再生：落ち葉掃き体験会の開催、くぬぎ山の保全活動参加 等
- ②所沢農業の活性化：地産地消取組み団体支援、所沢市/農工大連携協定PJT支援 等
- ③健康づくりと親睦：花見散策、市民大学ファームの会、各種講座への参加 等

2. 今年度の活動実績

- ①1月 落ち葉掃き体験会の開催（所沢市 農業振興課と共催、所沢市陽子ファーム）
- ②3月 花見&ハイキング（清瀬かたくり〜柳瀬川桜）
- ③4月 埼玉県出前講座（気象と農業災害）開催（地球環境に学ぶサークルと共催）
- ④5月 長野県高山村宮川農園「りんご花摘みボランティア」&「安曇野観光」
- ⑤7月 市民大学ファーム「夏の収穫祭」
- ⑥8月 御岳山ハイキング（レンゲショウマ&ロックガーデン）
- ⑦10月 長野県高山村宮川農園「りんご収穫ボランティア」&「秋山郷観光」
- ⑧11月 市民大学ファーム秋の収穫祭（東京農工大学と共催予定）
- ⑨12月 里山の保全活動（三芳町：伊東農園、所沢市：陽子ファーム）

3. 来年度の方針

基本は今年度方針を継続とし、他サークルとの連携で活動&交流の幅を広げる。
又、新規加入者の要望も加味して年間活動を策定する。

10. 野老澤の歴史をたのしむ会 代表：大山豊 連絡先：2993-0818 会員数：38 名

① 今年度の方針

所沢に関わりのある近隣地域の歴史事象や歴史事物などを座学とともに学んで行く。

② 今年度の活動実績

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1月10日 所沢の食文化・食生活 | 1月19日 座学 鉄道遺跡、軽便鉄道 |
| 2月2日 座学 絵馬とその歴史 | 2月25日 歴史講座「武州世直し一揆」 |
| 3月2日 座学 日銀、貨幣博物館 | 3月18日 カドカワプロジェクトを聴く |
| 4月6日 狭山33観音巡り（6回） | 4月20日 鎌倉街道を歩く（7回） |
| 5月18日 三ヶ島よし子の足跡 | 5月21日 滝の城祭り見学 |
| 6月1日 三上博史氏講座 | 7月1日 富士塚巡り（8回） |
| 7月25日 ほうろく灸、講和と体験 | 9月7日 バス旅行（浅間神社、他） |
| 9月21日 織物工場見学 | 10月5日 出張講座 高麗一族と武蔵武士 |
| 10月19日 鎌倉街道、最終 | 11月2日 埋蔵文化財調査センター講座 |
| 11月24日 リサイクル工場見学 | 12月7日 探究「柳瀬川・東川」 |

③ 来年度の方針

来年度も、今までどおり、地元に関連した題材を選び野外、座学、出前主張などを入れながら、楽しくやって行きたいと思っています。

11. ドラマティック・カンパニー 代表：柳沢千賀子

連絡先：04-2968-5035 会員数：13名

①今年度の方針

・今まで読んだ作品の中からもう一度読みたい作品を選び、新しく読む作品と交互に読み進める

・「ハーメルンの笛吹きおとこ」の公演に向けてできる限りの協力をする

・サークル発表に向けての作品選びと練習

②活動実績

・基本、月2回の活動（第1・第3土曜日）

・扱った作品 「コリオレイナス」「リア王」「シンベリン」

・7/28 サークル発表「リア王」

③来年度の方針

今年度はサークル発表や十周年記念行事に関わり何かと忙しかったので、来年度はじっくりと作品に取り組んでいきたい。今年度と同様に、以前に扱った作品と新しい作品とを交互に読み進めていく。

12. 懐かしの映画・鑑賞会 代表：二上拓夫 連絡先：2998-1958 会員数：36名

①今年度の方針

青春時代の娯楽は映画でした。懐かしい映画を見て、昼食を食べながら、会話が弾む鑑賞会を運営していきます。お互いの親睦を深めるための「一笑一若」の活動を継続します。

②今年度の活動実績

28年11月 洋画「2001年宇宙の旅」、洋画「戦場のメリークリスマス」

28年12月 邦画「最後の忠臣蔵」、後半は冬休み

29年1月 前半は冬休み、喜劇「男はつらいよ」 行事：蘭玉飾り

29年2月 洋画「理由なき反抗」、邦画「駅-Station-」 行事：無声映画「生まれては・」

29年3月 洋画「彼女は二丁拳銃」、邦画「警察日記」 行事：桃の節句（男の料理）

29年4月 邦画「月形半平太」、洋画「コクーン/遙かなる地球」

29年5月 邦画「陰陽師」、洋画「雨のニューオリンズ」 行事：端午の節句（女の料理）

29年6月 邦画「ニッポン無責任時代」、洋画「騎兵隊」 行事：無声映画「カリガリ博士」

29年7月 洋画「ブリジッド・ジョーンズの日記」 行事：そうめんパーティー・七夕の会

29年9月 邦画「東京キッド」、洋画「マディソン郡の橋」 行事：女子会

29年10月 洋画「さらば愛しき女（ひと）よ」、邦画「秋日和」 『上映回数20回』

③来年度の方針

映画作品は、邦画が498作、洋画が276作もあります。皆さんと相談して、見たい映画をこれからも上映して、鑑賞と団らんを楽しみます。四季折々の伝統行事を楽しみます。

13. 脳活サークル 代表：加曾利厚雄 連絡先：2939-2308 会員数：17名

<活動実績を主体に示す>

平成 28 年度	活動内容	講師・参加者
11 月 28 日	100 歳までボケない 101 の方法、認知症予防 DVD 鑑賞	会員による講座/16 名
12 月 19 日	音楽療法と「トコトコバンドの演奏」・忘年会	若山昭氏他/36 名
1 月 23 日	「川越初詣」と「いも膳」での昼食会	幹事会/16 名
2 月 27 日	介護保険の改正後について（介護保険を考える）	久保田氏、泉氏/23 名
3 月 27 日	ハンド・フットマッサージ、認知症予防 DVD 鑑賞	河原千恵子氏/10 名
平成 29 年度	活動内容	講師・参加者
4 月 24 日	総会（話し合い）、懇親会（甚作）	幹事会/16 名
5 月 22 日	認知症サポーター講座	泉志津子氏/23 名
6 月 22 日	ボールクレー（指先と頭の活性化）	森るみ子氏/14 名
7 月 24 日	社会福祉協議会の話、手話の実技	小田部家成氏/16 名
8 月 28 日	折り紙/笑いヨガ/暑気払い（木曽路）	新井氏/河原氏/12 名
9 月 25 日	軽井沢バス旅行/軽井沢の歴史の勉強	幹事会/24 名
10 月 27 日	バードウォッチング：いきものふれあいの里見学	職員、会員

<「認知症にならない私生活を身に付ける」をモットーに遊びながら学んでいく>

14. 北欧の会 代表：樋口俊夫 連絡先：090-6483-7993 会員数：5名

1、今年度の目標

- ①アウトドア（大使館訪問など）の活動を行う ②北欧情報などの持ち寄り学習
- ③北欧関係の DVD 鑑賞 ④パンケーキの国で」を読む

2、活動実績

- ①デンマーク大使館は来年に持ちこし。「スーパーエコタウン」見学を地球環境に学ぶと共催で11月開催（予定）
- ②DVDの鑑賞と話し合い「チェルノブイリから福島へ」、「フクシマ未来の祈り」「7人の憲法研究会」など（3月、4月、5月）
- ③持ち寄り学習、「移民の受け入れ方」、「多数決 本当に民主的」「ヒュッゲ 大切な人 温かい時間」「公正な統治あつての幸せノルウェー」「幸福度ランキング」など（2月、3月、5月、9月）
- ④「パンケーキの国で」を読む。「移動教室」「嫌がらせ」など（4月、6月）

3、来年度の方針

- ①今年度の活動の継続
- ②北欧から学ぶべきものを考える。

15. 傍聴席 代表：石堂智士 連絡先：2926-7164 会員：15名

①今年度の方針（来年度の方針も同じ）

「傍聴席」は所沢市の市議会を傍聴し、市政と市政に関する身近な問題を幅広く仲間と話し合い考えます。またブログ「傍聴席」を通して伝えることを目的にしています。

②今年度の活動実績、③来年度の方針を原則とします

28. 11. 21 所沢市危機管理課の出前講座：市の危機管理について

28. 12. 19 今年の学習の反省と自由討議

29. 01. 23 収支報告、会則改定、年間活動計画など定期総会開催

29. 02. 20 29 年後活動計画策定：全員討議

29. 03. 21 新年度予算案、3 月市議会などの学習会

39. 04. 17 南林和椿峰まちづくり協議会長講師「高齢化する地域でのコミュニティづくり」

29. 05. 15 環境クリーン部資源循環課の出前講座：ごみ処理について

29. 06. 19 「所沢市の課題など」会員フォーラム（全員討議）4 テーマ

29. 07. 25 藤村コノエ環境文明 21 共同代表講師「パリ協定」（地球環境に学ぶと共催）

29. 09. 19 作成者 6 人講師「自然エネルギー活用のすすめ」の学習会

29. 10. 16 「所沢市の課題など」会員フォーラム（全員討議）4 テーマ

29. 11. 20 所沢市議会の会派自由民主党の出前講座：説明と質疑応答

毎回 11～18 人が参加しています。ブログのアクセス回数は累計 16 万件を超えました。

16. 民話の会 代表：仲山富夫 連絡先：090-3902-0283 会員数：8名

1. 今年度の方針

1) レポートリー拡大

所沢の民話「河童のお伊勢参り」「東光寺の金毘羅さん」「滝の城の竜」を加え、7 点を紹介する。さらに、全国の童話や昔話を加える。

2) お話会の聞き手に応じて構成を考える。

3) オリジナルソング「民話はみんなの宝物」を加えて、歌と踊り、絵コンテによる画面を見ていただいての語り、さらに、季節の花々の写真を楽しんでいただく。

2. 活動実績

「ひばり児童館」「所沢小学校、南小学校、明峰小学校の 3 校の三年生の授業」、老人ホーム「真和の森、桂の樹、アンジューム所沢、千恵の輪」でのお話会。

外部団体「ときめきサロン」での民話の会。

3. 来年度の予定

1) 所沢の民話延べ 14 話の編集を完成する（語りや絵を修正追加し、PPT 作成）。

2) 倶楽部のサークル他、外部の団体との共催を進める。

3) 倶楽部文化祭、サークル発表会で、楽しさをお伝えする。

4) 会員を募り、都度グループを編成し語りの幅を広める。

17. 歴史散策クラブ 代表：大河原功 連絡先：2943-2004 会員数：21名

◇ 昨年に引き続き、今年も花と歴史、川と歴史、遺跡など中心に散策地を選定、地域の歴史を学び、そして親睦を深める。		
実施日	内 容	企 画
1/7 (土)	上野・徳川将軍ゆかりの史跡をめぐる	3 班
2/18 (土)	黒目川の遺跡を歩く	2 班
3/29 (水)	浜離宮から隅田公園の桜	1 班
4/22 (土)	新河岸川沿い仙波氏ゆかりの地を歩く	3 班
5/13 (土)	文京ふるさと歴史館から伝通院へ	2 班
6/10 (土)	古利根川沿い粕壁宿を歩く	3 班
7/22 (土)	座談会と暑気払い (たつみそば)	3 班
9/15 (金)	柴又帝釈天から里見公園 (野菊)	1 班
10/28 (土)	芝・高輪の遺跡を歩く	2 班 (予定)
11/11 (土)	御岳溪谷の紅葉	1 班 (予定)
12/16 (土)	総会と忘年会	1 班 (予定)
◇ 7 月は講座を計画したが都合で実施できなかった。実施結果の振り返りや次年度の方針・計画などは今後、会合を持って決めることになる。		

第 10 期 会計報告および監査報告

(平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日)

＜収入の部＞

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
前期繰越金	185,394	185,394	0	
会費	520,000	516,000	△4,000	258 人 X2,000 円
会報郵送費	28,000	27,300	△700	39 人 X700 円
講座受講料	80,000	210,000	130,000	連続講座 2 部制
雑収入	80,000	90,000	10,000	総会後及び新年会新入会懇親会会費
合計金額	893,394	1028694	135,300	講座受講料増が寄与

＜支出の部＞

(単位円)

項目	予算	決算	増減	備考
講演会講師謝礼	130,000	151,000	21,000	新春の集い、連続講座
会場費	170,000	98,820	△71,180	総会、講演会、理事会、編集会議
振込手数料	10,000	9,260	△740	会費・郵送料のうち振替手数料
会報発行費	35,000	35,016	16	「広場」(用紙代・印刷代・インク代)
会報郵送費	45,000	40,224	△4,776	郵送(郵送希望者・特別会員)
通信費	57,000	58,007	1,007	総会案内はがき、総会資料送料発送、 正副会長連絡事務費
事務費	72,000	82,634	12,634	事務用消耗品等
サークル補助費	75,000	76,500	1,500	活動補助費(17 サークル)
交通費	6,000	0	△6,000	下見など
保険料	6,000	0	△6,000	野外活動団体傷害保険
雑費	90,000	105,845	15,845	総会後及び新年会懇親会飲食費
予備費	34,000	33,748	△252	広報部用HP関係費用等
10 周年事業費	0	176,313	176,313	シンポジウム収支△99,115 円 ハーメルン収支 10,999 円 記念誌収支 △88,197 円
次期繰越金	163,394	161,327	△2,067	
合計金額	893,394	1,028,694	135,300	

上記のとおり報告いたします。

平成 29 年 10 月 31 日 総務部 会計 中原幹男 ㊦ 曾部康子 ㊧

＜監査報告＞

ところざわ倶楽部(平成 28 年 11 月 1 日～平成 29 年 10 月 31 日)の会計書類について監査を行い、報告書は平成 29 年 10 月 31 日現在の財産および収支状況を適正に表示していることを認めます。

平成 29 年 10 月 31 日 会計監査 田村健一郎 ㊨ 小野さとえ ㊩

4 第11期ところざわ倶楽部活動方針（案）

第11期ところざわ倶楽部会長 佐藤 重松

第11期のところざわ倶楽部の活動方針は、創立10周年の記念行事の取り組みが、倶楽部会員の結束のもと、一般市民の参加も得て、“ところざわ倶楽部ここにあり！”を内外にアピール出来ました。また、倶楽部の土台ともいべきサークル活動の質の高さも、あらためて再認識しました。そうした質の高い活動を積み重ねられてきた背景は、勿論サークル会員の皆さんの努力と融和の賜物です。加えて、倶楽部創立以来、機関紙「広場」の途切れることのない発行・広報活動、歴代編集委員の皆さんの熱意と努力が要因となって、会員の結束と、サークル活動の更なる励みを”触発“し続けてきたものと思います。更には、HP（ホームページ）に於ける各ジャンルの充実と週単位の更新継続は、他に類をもない程優れた、素晴らしいものだと思います。担当者の献身的努力に敬意と感謝を表したいと思います。

こうした10期まで積み重ねられた倶楽部の優位性を土台に、11期は継続発展していく方向で取り組み、次なる20周年に向けてのスタートの期として、会員の皆さんの総意に基づき下記の5点を基軸に進めて行きたいと思います。

- ① 各種事業については、事業部計画（案）に則り進めたいと思います。
- ② サークル相互の経験交流を活発に進め、相互理解と相乗効果を促進します。
- ③ 退会者について、とりわけご高齢となって従来のような参加が出来なくなり退会に至るケースについては、長い間仲間として、友人として親交を深めて来られた先輩の皆さんに倶楽部として、何らかのフォローを検討したいと思います。
- ④ 現役市民大学との親交は、企画委員会との意見交換等を定例的に行える関係づくりを。受講生に対しては、各サークルの呼びかけを活発化し、ごく自然に参加・加入して頂けるような仕組みを検討したいと思います。
- ⑤ ところざわ倶楽部は、高齢者が「生涯学習」を標榜し、同世代の「交流と親睦」を深めながら、超高齢社会のど真ん中にいる当事者の団体です。ところざわ倶楽部には、リタイア後の高齢期を逞しく、且つ、楽しく生き抜く知恵が、蓄積されております。この積み重ねられた実績を活かし、任意団体として、関連する団体との交流や協力協同の関係を模索する年としたいと思います。

第11期方針を着実に進めて行く上で、17のサークル活動の充実とサークル相互の親交の活発化。同時に、倶楽部全体の事業に、積極的に参加して頂くことで、全会員の彩のあるパーソナリティーに触れられる“スクランブル交差点”となれば、サークル&倶楽部全体として相乗的効果が醸成されると思います。ぜひ、積極的に参加頂きたいと思います。

5 第11期役員改選（案）

No	期	氏名	第11期役職	理事	第10期役職	推薦母体及びサークル
1	21	佐藤 重松	会長兼事業部長	留任	副会長兼事業部長	理事会推薦
2	20	中原 幹男	副会長兼総務部長	留任	総務副部長	地球環境に学ぶ
3	20	玉上 佳彦	副会長兼広報部長	留任	広報部担当理事	理事会推薦
4	19	岡崎 久子	総務担当理事会計	新任		所沢の自然と農業
5	17	石堂 智士	総務部担当理事	留任	副会長兼総務部長	傍聴席
6	14	佐藤 美津子	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	民話の会
7	21	内田 滋男	総務部担当理事	留任	総務部担当理事	歴史散策クラブ
8	17	森野 辰夫	事業部副部長	留任	事業部副部長	北欧の会
9	18	加藤 敏恭	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	楽悠クラブ
10	14	海老澤愛之助	事業部担当理事	留任	副会長兼広報部長	地域の自然を考える会
11	18	高瀬 成一	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	脳活サークル
12	20	池上 幹彦	事業部担当理事	留任	事業部担当理事	所沢シニア世代地域デビュー支援
13	21	小玉 正男	事業部担当理事	新任		アジア研究会
14	19	園田 ヒロ子	事業部担当理事	新任		食を通して所沢を知る会
15	16	戸田チイ子	事業部担当理事	新任		野老澤の歴史をたのしむ会
16	22	西郡 貢	広報部副部長	留任	広報部担当理事	理事会推薦
17	23	川上 紀春	広報部担当理事	留任	広報部担当理事	生きいきシニア福祉の会
18	22	水上 俊彦	広報部担当理事	新任		葵の会
19	21	松尾 龍之	広報部担当理事	新任		懐かしの映画・鑑賞会
20	22	方山 みどり	広報部担当理事	新任		ドラマティック・カンパニー
	18	田村健一郎	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦
	15	小野 さとえ	会計監査	留任	会計監査	理事会推薦

退任理事：稲村洋二（会長）、曾部康子（総務担当理事会計）、大越理恵（総務担当理事）、岡部まさ子（事業部担当）、吉田麗（事業部担当理事）、安田好子（事業部担当理事）、井上守（事業部担当理事）、中島峯生（広報部担当理事）

6 第11期活動計画（案）

6-1 事業活動計画（案）

1) 活動方針

会員相互の「交流と親睦」を深めることを、倶楽部全体の事業計画の柱に、多くの会員の皆さんが参加して頂ける企画を提案し、各サークル活動の充実・発展と相俟って、倶楽部の総合力が相乗的に発揮できる事業計画としたいと思います。

更には、市民大学受講生の平均年齢の上昇が、倶楽部会員の平均年齢の上昇に反映され、全体として高齢化が進んでいると判断せざるを得ません。

一日でも長く、元気に所属サークルでご活躍頂きたいことと、年齢的・身体的状況に於いて、誰もがやむなく活動（行動）範囲が狭まり、やがて退会と云う選択肢も現実問題。今期は、このような問題に複合的に取り組み、身近なネットワークづくりを視野にすすめていきたいと思います。

2) 活動計画（2017/11～2018/10）

- ① 1月 「新春の集い」 倶楽部会員と新会員歓迎懇親会
- ② 4月 「講演会」 テーマ未定
- ③ 5月 「ところざわ倶楽部文化祭」
- ④ 7月 「文芸講座」
- ⑤ 9月 「サークル発表会」
- ⑥ 11月 「総会と懇親会」

基本的な事業計画は左記の通りですが、具体的な内容については、総会後とします。また、状況次第では、若干の変更をご了承ください。

<各事業のポイント>

- ① 「新春の集い」 新会員の歓迎と新旧会員の交流と親睦の場とし、“抹茶と和菓子”で茶会
- ② 「講演会」 時代や社会情勢にヒットするようなテーマを検討
- ③ 「文化祭」 10期は、創立10周年記念行事に伴い、文化祭を開催しませんでした。
文化祭開催を期待する会員の皆さんの声が寄せられ、今期は開催したいと思います。
- ④ 「文芸講座」 会員及び一般市民参加型の講座を例年にならい開催。（有料講座）
講座内容については、10期講座でのアンケート（今後のぞむ講座）を検討の材料として考慮
- ⑤ 「第3回サークル発表会」 倶楽部17サークルが順次活動内容を内外にプレゼンテーション
各サークル活動について倶楽部全体で共有する場として、継続開催。
- ⑥ 総会と懇親会。とりわけ会員の交流と親睦の場として<懇親会の企画運営>を

<各事業開催・運営にあたって>

倶楽部全体として、会員の「交流と親睦」そして「相互理解と協調」を基本に計画・運営。

その為には、企画・運営・実施（実行部隊）の熱意と努力、それに呼応する会員の皆さんの参加意欲が重なり合えば、素晴らしい“開催”となり、その目的は達成されます。

また、会員の皆さんの貴重な会費活用についても、費用対効果がより大きなものとなります。

上記に掲げました各種事業に、主体的且つ能動的に、お一人お一人が参加し、盛り立てて頂きますようお願い致します。

6-2 広報活動計画（案）

1. 活動方針

ところざわ倶楽部の理念である

- ①学習活動の継続 ②会員相互の親睦 ③学びを地域に活かす
- ④ネットワークづくり

以上の理念を念頭に、ところざわ倶楽部の広報媒体としての広報紙「広場」とホームページにて、的確かつタイムリーな情報発信に注力する。

2. 編集体制の見直し・強化

- ①これまで 14 期から 17 期の経験豊富な編集委員にたよっていた体制を見直し、新メンバーによる編集体制の強化をはかる。
- ②ところざわ倶楽部には、多くの女性会員（約 45%）がいるので、これまでの男性主導の体制を見直し、女性の視点に立った編集、紙面構成を検討する。
- ③編集会議への各部役員の参加を要請し、広報媒体の内容と倶楽部の方針に整合性をもたせるようにする。

3. 広報紙「広場」

- ①原則として、従来通り 8 頁編成で月刊紙として発行するが、状況に応じて改訂
- ②掲載内容 ・ところざわ倶楽部の事業などの告知
 ・各サークルの活動状況や個人の投稿
 ・その他 新企画を検討
- ③ネット環境にない方々向けのHPに代わる的確な情報提供媒体とする

4. ホームページ

- ①ネット時代に対応した最新の情報を発信する媒体として、さらなるコンテンツの充実をはかる。
- ②ところざわ倶楽部のような会員組織で、HPを発信しているというメリットを活かし、会員相互の情報交換ツールとして活用できるようなコーナーを新設し、会員の自由なアピールの場を提供する。
- ③現在 17 あるサークルが、サークル間の連携を図り、合同企画などでより活発な活動ができるような情報提供を進める。

5. 広報部からのお願い

ところざわ倶楽部の事業、サークル活動が円滑に運営できるように広報活動に当たります。皆様の積極的な参加とご協力をお願いいたします。

第 11 期 予算案

(平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 10 月 31 日)

《収入の部》

(単位円)

項目	11 期予算	前 10 期決算	増減	備考
前期繰越金	161,327	185,394	△24,067	
会費	520,000	516,000	4,000	11 期 260 人 X2,000 円
会報郵送費	32,000	27,300	4,700	11 期 40 人 X800 円
講座受講料	157,500	210,000	△52,500	11 期連続講座 500 円値上げ
雑収入	90,000	90,000	0	総会後懇親会会費、新年会会費
合計金額	960,827	1,028,694	△67,867	

《支出の部》

(単位円)

項目	11 期予算	前 10 期決算	増減	備考
講演会講師謝礼	160,000	151,000	9,000	講演会、講座等
会場費	190,000	98,820	91,180	総会、講演会、講座、理事会、文化祭等
振込手数料	10,000	9,260	740	会費・郵送料のうちよ振替手数料
会報発行費	35,000	35,016	△16	「広場」(用紙代・印刷代・インク代)
会報郵送費	45,000	40,224	4,776	「広場」郵送(郵送希望者・特別会員)
通信費	67,000	58,007	8,993	総会案内はがき、総会資料送料、正副会長連絡事務費
事務費	102,000	82,634	19,366	事務用消耗品、倶楽部横断幕 1 万円、ハードディスク 1 万円 等購入
サークル補助費	110,000	76,500	33,500	活動補助費 (17 サークル)、文化祭
交通費	0	0	0	下見等
保険料	0	0	0	野外活動団体傷害保険
雑費	90,000	105,845	△15,845	総会後懇親会飲食費、新春の集い懇親会お茶代等
HP 費	34,000	33,748	252	広報部用 HP サーバー使用料、セキュリティソフト
10 周年事業費	10,000	176,313	△166,313	ハルシ CD 制作、記念誌事務費等
予備費	107,827	161,327	△53,500	(次期繰越金)
合計金額	960,827	1,028,694	△67,867	